

男 女

【1】オープニング

女 これから始まる夢の中で

答えを見つける？

どこかへたどり着く？

それはあなた次第

男 答えは知らない

それはきみの中に

それは夢の中に

答えは知らない

女 ちゃんと生きた？

男 そりゃあ、誓った通り、精一杯。そっちは？

女 うまく踊れなかったけど、やれることはやった

男 生きたねえ

女 死ぬのかねえ

男 まだまだだよ。いつかだね

女 怖くない？

男 ううん。死んでも、肉体が朽ちるだけ。心は誰かの記憶に残るし、心を引き継いでいってくれるし。まあ、そのためには、一生懸命生きる姿を見せる必要があるけどね。

それが誠意ってものだな

女 そうだね。必死に生きたい。あ、おばあちゃんになっても、

コンテンポラリーダンス踊ってたら、カッコ良くない？

男 それを言うなら、おじいちゃんになっても、ラップしてたら、カッコ良くない？

女 そうだね。先は長いね

男 でも楽しみだな

女 前向き！

男 タイトルについては

女 てんびん

男 とか

女 仮想通貨

男 とかかって

女 意味

男 でも、必要だろうか？

女 タイトルが？

男 何もかもが

女 とりあえず、今のは、なしってことで

男 意味とか正解とか答えとか求めすぎ

女 でも、終わったら、そっと心の中で名前をつけてくれればいいかな

男 それは傲慢だよ

女 むしろ、あなたの方が傲慢じゃないかしら。名前をつけられることを

拒否するんでしょ？ 名前は形にはならないけれど、価値はあるから、気軽にいいから、

名付けてほしいってのが、人の心

男 仕方ないな。名前をつけてやるから精一杯……

男と女（間を取ってから）生きろ！

【2】第二幕

女 生命。

男 種、蒔く。

女 花、咲く。

男 足跡を残す。

女 至福。

男 パステルグリーンの大地。

女 パステルイエローの太陽。

男 ん？

女 何？

男 産まれた？

女 産まれた！

男 成長。

女 虚無を知らずにただ泣く。

男 喜びも知らずにただ泣く。

女 あやしても泣き止まない。

男 あなたに会えてうれしい。

女 わたしのもとへやってきてくれて、ありがとう。

男 生まれた命。

女 証明なんてする必要はないよ。

男 ただ生きて。

女 子どもって無邪気だから、砂場で。

男 ぐねぐねした川を作って遊んだなあ。

女 忘れたなあ、あの頃の間覚。

男 砂が爪の間に入るあの感じ。

女 時間を忘れてこの指止まれた

男 夕暮れの午後五時。

女 汚れた指先を太陽に向かって

男 差したりすることもあったさあ。

女 まぶしいのに。

男 背中に羽をはやして、

女 飛んでいきたいなあって思ったの、

男 覚えてる？

女 一がシルバー？ 地の色が銀色

男 ダンスにも台本あるんだね、きみの場合

女 音が強いとそっちに引っ張られるけど
男 音楽や言葉から体動いたりするの？
女 それはある。だからあまり強烈な言葉は避けて
男 抽象的すぎるとか言われない？
女 二はきいろとかグリーン。自分でも感覚的だとは思ってる。悪い？
男 別に責めてないし、ひとそれぞれだし
女 きいろって言うか、パステルイエロー
男 光の反射がやわらかい感じだね
女 あとはパステルグリーン。このふたつの色が、なんていうんだろう、混ざり合う部分もあるんだけど、それぞれが単体で生きてる
男 わかりづらい
女 余白はない。重なったり、重なってなかったり
男 むーん
女 三はわかりやすい。赤と黒のドット
男 なんてとかとは訊かない方がいいみたいだな
女 四は肌色、うーん、肌色は違うかな。茶色は近いかな。
男 多分、肌色っぽい色と茶色が混ざった色
女 オープニングとエンディングには色ないのね
男 ないけど、最後にどんよりしないように
女 ハッピーに終わらせる的な？
女 どよーんってなるんじゃない？『終わった、さあ、帰ろう！』って清々しくなるような
男 あと、△答えは明示しない△でいいかな？
女 お客様の感性とこちら側の感性が混ざると面白いよね。
感性のミックスっていうの？それとわたし、
昔はコンテンポラリーダンスとか疲れる〜とか思ってたから、
そうはしたくなくて、言葉や音楽を取り入れて、
ヒントになる様な事柄を置いておきたい。
暗黒舞踏とクラシックバレエの間にあるのが、
コンテンポラリーダンス
男 何言ってるの？ 全然わかんない
女 わたしはさ、言語化できない女だから察してよね。
それに答えがないことの方が多いんだよ
男 結局見えないじゃん、仮想通貨って。信用ならない。
女 クレジットカードも電子マネーもあり得ない。
男 圧倒的に現金主義だよ
女 Yさんは、そう言うと、だるそうに白ワインを。

男 彼女の部屋にいる。
女 女性らしくないオタクな風景。
男 四方の壁に本やCDやレコードが
女 押し込まれて、地震が来たら死んじゃうかなって。
男 でも、今ここで一緒に死ねたら、素敵かもって。
女 もうお金を払ってYさんに会うことはない。
男 仮想の恋人から脱却。現実世界で恋人っていう。
女 クリスマスにはサプライズなプレゼントを。
男 ぼくがサンタクロースだったら
女 どんなに良かったかなあ。
男 恋なんて記号で、仮想通貨よりも儂いから
女 命かける価値があるってもんだよ。
男 飲めないお酒を飲んで、気持ちが悪い。
女 好きな人が酔っ払っている姿は、そう、美しい。
男 感性をてんびんにかけるなんて、
女 全然わかってない。とNくんは少し怒って。
男 赤ワインをマグカップになみなみと注ぐから
女 随分酔っ払っているらしい。
男 でも、言ってることは間違っていない。
女 テレビで記号化されたJ・POPが流れている。
男 少しときめくわたしも酔っ払っている？
女 正解なんてないよね。お金儲けの芸術なんて
男 嫌いだけれど、消えてしまえとは思わないよな。
女 だってアイドルに命救われる人、
男 たくさんいるだろうし
女 わたしは自分が二番目の女だってことはわかっている。
男 一番目の人としてんびんにかけるまでもないくらい
女 貧弱なわたしの器量、才能。
男 美のセンスの欠片もなくて、化粧がヘタだ。
女 今のきみが好きだ
男 なんて言われても、あなたもわたしのてんびんに
女 どうにかされることすらないんだよ。
男 YとNは名前を持っていない。
女 感覚としてそれがあるだけ。
男 でも、それで十分じゃあないか。
女 「ねえ」とか「おい」とか必要に応じて呼べば。

男 散々言い尽くされたことだけど、
女 名前なんて記号なんだから、とYかNが。
男 すると。でも、名前、言い間違えられると
女 なんともせつないよね、とYかNが。
男 「腹立たしい」ってついでに。
女 間もなくふたりの子どもが生誕。
男 YとNの子どもか。
女 子どものYとNか。
男 股ぐらから芽吹く感覚。
女 ライブで熱狂する歓声が聞こえる。
男 祝祭が待ち構えてる。
女 YもNも名前を拒否。
男 理由？ 感覚的に！
女 だから誰でもない彼／彼女になって生きてく。

【3】エンディング

女 わからなければ、みんな芸術なのかしら？
男 だったら、恋愛も、人生も、全部、芸術だね。
女 日々の暮らしについても、わからないことばかり。
男 答えを出すための生活？
女 まだまだ勉強不足だって八〇歳の祖父が。
男 わたしは芸術じゃなくていいから、
女 ほどほどにみんなから愛されたいの。
男 愛されるためのレシビはないよね。
女 知ってたけど、ちよつと絶望。
男 芸術には答えがないって何度も。
女 暮らしも生活にも、正解なんてなくて
男 多分、幸せな人って、それを肯定できる人。
女 これがぼくの正解だって顔で笑えたらいいな。
男 これから本番だって八〇歳の祖母が。
女 だったら、ぼくの先はまだまだ長いな。
男 楽しいことが待ってる、
女 幸せな日々が待ち構えてる。
男 知ってるけど、すつごく希望。
女 これから始まる夢の中で
答えを見つける？
どこかへたどり着く？
それはあなた次第
男 答えは知らない
それはきみの中に
それは夢の中に
答えは知らない
女 夢から覚めた、さあ現実だ
答えなんかないし、たどり着きもしない
男 それぞれが人生を生きるをがんばって
多分、魂は生き続けるから
女 悲しくないよ
まぶしい光が射してる
男 あれが今だよ

女 あれはへまだゞだよ
満たされることを望んで生きてる
血が流れてる
男 「また明日！」って昨日が叫んでる
女 あなたは何を叫ぶ？
男 叫ぶ声が光に溶けていくのを
聞くのはどんな感じ？
女 また会おうね
男 また遊ぼうね
女 いつもの場所で待ってる

テキスト なかがわよしの
構成 くろいわりきや